

# JIS

## 銅及び銅合金中のすす定量方法

JIS H 1052 : 2010

(JCBA/JSA)

平成 22 年 5 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 非鉄金属技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	神尾 彰彦	東京工業大学名誉教授
(委員)	木股 隆三	FURUKAWA ELECTRIC INSTITUTE OF TECHNOLOGY Ltd.
	駒林 正士	日本伸銅協会 (三菱マテリアル株式会社)
	近藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	齋藤 鐵哉	独立行政法人物質・材料研究機構
	下村 孝	社団法人日本鉄道車輛工業会
	田中 護史	財団法人日本船舶技術研究協会
	田村 泰夫	日本鋳業協会
	中野 利彦	株式会社神戸製鋼所
	中村 守	独立行政法人産業技術総合研究所
	西村 尚	東京都立大学名誉教授
	林 央	独立行政法人理化学研究所
	町田 克己	住友金属鉱山株式会社
(専門委員)	吉田 英雄	社団法人軽金属学会 (住友軽金属工業株式会社)
	野原 慈久	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 59.2.1 改正：平成 22.5.20

官 報 公 示：平成 22.5.20

原 案 作 成 者：日本伸銅協会

(〒110-0005 東京都台東区上野 1-10-10 うさぎやビル TEL 03-3836-8801)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：非鉄金属技術専門委員会 (委員長 神尾 彰彦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文.....	1
1 適用範囲.....	1
2 引用規格.....	1
3 一般事項.....	1
4 定量方法の区分.....	1
5 メタすず酸沈殿分離アルミニウム・ニッケル還元よう素酸カリウム滴定法.....	5
5.1 要旨.....	5
5.2 試薬.....	5
5.3 装置.....	6
5.4 試料はかりとり量.....	7
5.5 操作.....	8
5.6 空試験.....	9
5.7 計算.....	9
6 ガレイン抽出吸光光度法.....	10
6.1 要旨.....	10
6.2 試薬.....	10
6.3 試料はかりとり量.....	10
6.4 操作.....	10
6.5 空試験.....	11
6.6 検量線の作成.....	11
6.7 計算.....	11
7 ケルセチン抽出吸光光度法.....	11
7.1 要旨.....	11
7.2 試薬.....	11
7.3 試料はかりとり量.....	12
7.4 操作.....	12
7.5 空試験.....	13
7.6 検量線の作成.....	13
7.7 計算.....	13
8 原子吸光法.....	14
8.1 要旨.....	14
8.2 試薬.....	14
8.3 試料はかりとり量.....	15
8.4 操作.....	15
8.5 空試験.....	16